

発行:東金市・九十九里町

この広報紙は東金市、九十九里町が地域医療センター推進のために共同して発行するものです。

～平成26年4月の開院を目指して～ 事業計画固まる

千葉県と千葉大学の支援、協力をいただき東金市と九十九里町が進めている地域医療センターの事業計画がこのほどまとまりました。
この計画に基づき平成26年4月の開院を目標に、救急医療・急性期医療を核とした地域医療を行う314床の病院(救命救急センター併設)の整備を進めていきます。

協議会・議会などで事業計画案を了承

地域医療センターニュース第3号では第3回検討協議会で承認された内容についてお知らせしましたが、その後、医療専門委員会や経営検討会議では、詳細な医療機能や全体事業費の整理、これに伴う経営収支の推計などが検討され、この度事業計画案がまとまりました。

この事業計画案は、10月19日に開催された第4回検討協議会で承認されました。その後、東金市議会、九十九里町議会にそれぞれ説明され、了承されました。

24時間365日の救急医療の提供を

◆基本理念

住民に信頼される医療の提供
患者の権利を尊重し、救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として地域住民に信頼される高度で安全な医療を行います。

◆基本方針

住民の生命と健康を守り、医療の質の向上を図る
救命救急センターを併設して24時間、365日の救急医療の提供を行い、地域の中核病院として住民の生命と健康を守ることや医療従事者の研修に力を注ぐなどの基本的な考え方が示されました。

◆計画案

診療科と医師数

22診療科で常勤医師数は56人です。

- 内科(2)、消化器内科(4)、神経内科(2)、呼吸器内科(2)、循環器内科(4)、代謝内分泌内科(2)、小児科(4)、外科(5)、心臓血管外科(3)、整形外科(5)、脳神経外科(3)、皮膚科(1)、泌尿器科(1)、産婦人科(3)、眼科(1)、耳鼻いんこう科(1)、リハビリテーション科(1)、放射線科(2)、麻酔科(3)、精神科(1)、歯科口腔外科(1)、救急科(5)

合計22科(56人)

◆運営の形態

東金市と九十九里町が設立する一般地方独立行政法人が運営します。

地方独立行政法人は、一般的な公立の直営方式に比べ予算運用の柔軟性があるため、経営を見据えての柔軟な発注契約が可能となり、建設費などを抑えることが出来ます。また、非公務員型となりますので人事給与などを経営に合わせた運用が図れます。

さらに、地方独立行政法人の自主性を発揮し、医療環境などの変化に即応した効率的な運営ができる仕組みとなっています。

◆建設位置

東金市丘山台三丁目6番1、6番2(千葉東テクノグリーンパーク47番区画)7番1の一部、7番2(同46番区画の一部)(敷地面積約80,400㎡、うち平地面積約49,500㎡)

47番区画で計画していましたが、駐車場用地などが若干不足することが見込まれますので、隣接する土地の一部を含めて整備することになりました。

◆病院規模

- 病床数 314床
- うち救命救急センター20床

(裏面参照)

○病院本棟

- 延べ床面積約25,000㎡
- 駐車場台数 約740台
- 医師・看護師宿舎 45戸
- 院内保育所 定員20人
- 平地にドクターヘリ・ヘリポートを設置

(裏面参照)

◆建設事業費

病院を開設するまでの総事業費は12億7,100万円の計画となっています。このうち、一般財源(東金市と九十九里町の財源)13億1,900万円、病院事業債(起債)101億8,400万円、県補助金10億6,800万円です。

千葉県の支援額は建設時の補助金10億6,800万円です。そのほか74億9,000万円が開院後10年間で分割して補助されます。

(裏面参照)

◆開院後の経営見込み

経営の収支をシミュレーションしたところ、開院してから6年目までは赤字になりますが、7年目で黒字に転換することが想定されています。

(裏面参照)

◆段階的にフルオープンへ

医師や看護師など医療に従事する人の体制確保と患者の受け入れなどを考慮して、開院から段階的に病床をオープンし、3年以内でフルオープンしていきます。

- 平成26年度(1年目) 病床数 3病棟/病床数 146床
- 平成27年度(2年目) 病床数 5病棟/病床数 230床
- 平成28年度(3年目) 病床数 7病棟/病床数 314床

ただし、この地域に必要な救命救急センターは優先して体制を整えていきます。

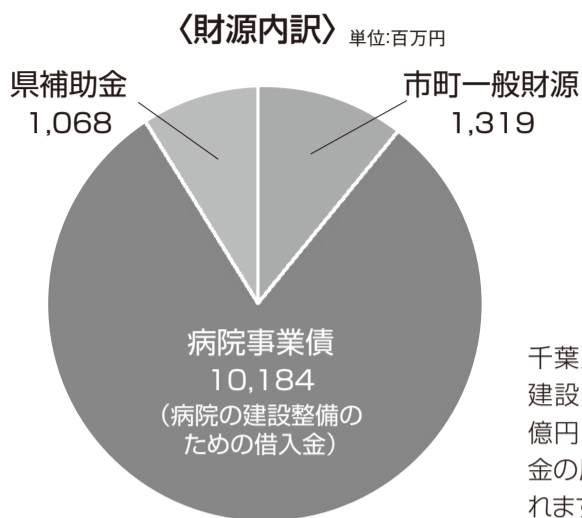


建設事業費

単位:百万円

費用区分	金額	
土地購入費	934	
調査・測量費	10	
建築費	病院建築費	7,159
	医師・看護師宿舎・保育所建築費	427
	エネルギー棟・防災備蓄倉庫建築費	180
	外構工事費・工事雑費	523
	小計	8,288
設計・監理費	349	
医療機器・備品類	2,210	
その他 開院前人件費等	779	
合計	12,571	

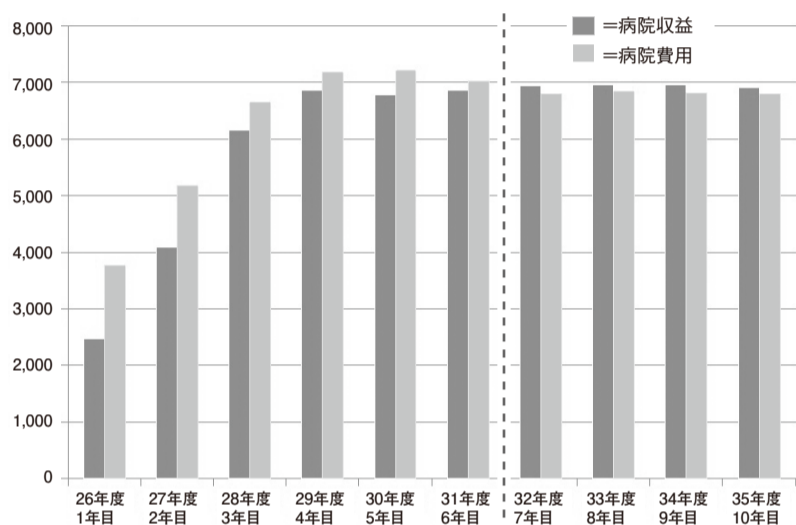
※単位未満の数値があるため合計は一致しません。



千葉県の支援額は総額85.6億円。建設時に県補助金として、10.68億円、翌年度以降病院事業債償還金の原資として74.9億円が交付されます。

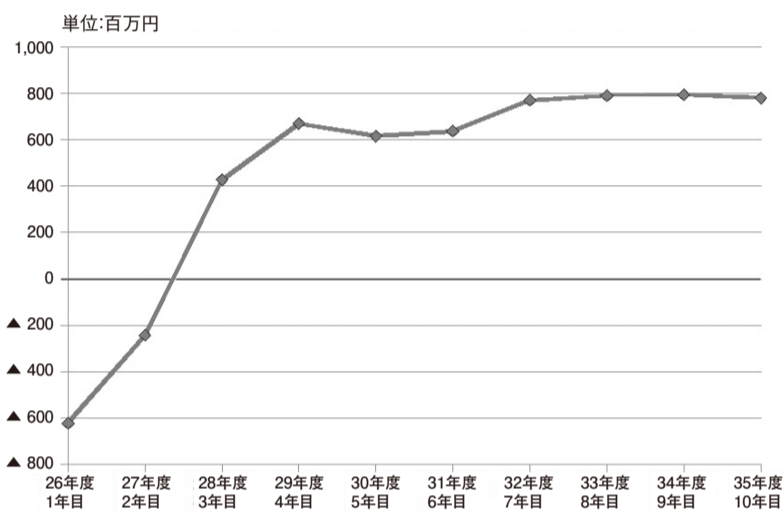
開院後の経営見込み

〈病院経常損益推移〉



経常損益は6年目まで赤字となっています。7年目から黒字に転換することが想定されます。

〈単年度資金収支〉



開院後2年目までは資金繰りが厳しいため、県の支援金を活用して経営の改善を図ります。

〈今後のスケジュール〉

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
用地取得	→				
建設 基本設計	→				
実施設計		→			
建設工事			→	→	開院

医療センター建設位置



建物配置図(イメージ)

